

# 記載例

(退職、一括徴収する場合)

<b>受付印</b> 8		給与支払報告に係る給与所得者異動届出書 特別徴収						整理番号	
〇〇市町村長 令和 9 年 2 月 1 日 提出		所在地 〒 〇〇〇-〇〇〇〇 大阪府〇〇市××1丁目1-1 □×工業(株)				担当氏名 大坂 希美		7 年度 特別徴収指定番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 8 年度 特別徴収指定番号 7123608	
フリガナ センシュウ タロウ 氏名 泉州太郎 生年月日 元号 3 - 1.明治 2.大正 3.昭和 4.平成 50 年 5 月 5 日 個人番号 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 住所 大阪府〇〇市××3丁目3-3 異動理由		特別徴収税額 (年税額) 86,400		徴収済税額 (イ) 6 月分から 2 月分まで 1 月分まで 5 月分まで 57,600		未徴収税額 (ウ) 28,800		異動年月日 令和 9 年 1 月 30 日 異動の事由 番号を記入 1.退職 2.転勤 3.休職・喪失 4.死亡 5.支払少額・不定期 6.合併・解散 7.その他 1	
異動後の未徴収税額の徴収方法 番号を記入 ① 特別徴収継続 ② 一括徴収 ③ 普通徴収 (本人が納付) 2		① 特別徴収継続の場合 (給与所得者が、新しい勤務先で特別徴収を希望する場合に記入してください。) 新しい勤務先(特別徴収義務者) 所在地 特別徴収指定番号 担当氏名 月割額 月分 ② 一括徴収の場合 (未徴収税額を一括徴収する場合に記入してください。) 番号を記入 2 1.異動年月日が12月31日以前でかつ本人からの申出があったため。 2.異動年月日が1月1日以降でかつ特別徴収の継続の希望がないため。 徴収予定額 (ウ)と同額を右欄に記入 28,800 左記の一括徴収した税額は、 1 月分 (翌月10日納期限) で納入します。 ③ 普通徴収の (一括徴収しない) 場合 (①及び②に当てはまらない場合に記入してください。) 番号を記入 1.異動年月日が6月1日~12月31日でかつ本人からの申出がないため。 2.異動年月日が1月1日~4月30日でかつ給与及び退職手当等から未徴収税額(ウ)を一括徴収できないため。 3.死亡による退職のため。							

# 記載例

(退職、一括徴収しない場合)

<b>受付印</b> 8		給与支払報告に係る給与所得者異動届出書 特別徴収						整理番号	
〇〇市町村長 令和 8 年 9 月 13 日 提出		所在地 〒 〇〇〇-〇〇〇〇 大阪府〇〇市××1丁目1-1 □×工業(株)				担当氏名 大坂 希美		7 年度 特別徴収指定番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 8 年度 特別徴収指定番号 7123608	
フリガナ センシュウ タロウ 氏名 泉州太郎 生年月日 元号 3 - 1.明治 2.大正 3.昭和 4.平成 50 年 5 月 5 日 個人番号 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 住所 大阪府〇〇市××3丁目3-3 異動理由		特別徴収税額 (年税額) 84,000		徴収済税額 (イ) 6 月分から 10 月分まで 9 月分まで 5 月分まで 28,000		未徴収税額 (ウ) 56,000		異動年月日 令和 8 年 9 月 11 日 異動の事由 番号を記入 1.退職 2.転勤 3.休職・喪失 4.死亡 5.支払少額・不定期 6.合併・解散 7.その他 1	
異動後の未徴収税額の徴収方法 番号を記入 ① 特別徴収継続 ② 一括徴収 ③ 普通徴収 (本人が納付) 3		① 特別徴収継続の場合 (給与所得者が、新しい勤務先で特別徴収を希望する場合に記入してください。) 新しい勤務先(特別徴収義務者) 所在地 特別徴収指定番号 担当氏名 月割額 月分 ② 一括徴収の場合 (未徴収税額を一括徴収する場合に記入してください。) 番号を記入 1.異動年月日が12月31日以前でかつ本人からの申出があったため。 2.異動年月日が1月1日以降でかつ特別徴収の継続の希望がないため。 徴収予定額 (ウ)と同額を右欄に記入 左記の一括徴収した税額は、 月分 (翌月10日納期限) で納入します。 ③ 普通徴収の (一括徴収しない) 場合 (①及び②に当てはまらない場合に記入してください。) 番号を記入 1.異動年月日が6月1日~12月31日でかつ本人からの申出がないため。 2.異動年月日が1月1日~4月30日でかつ給与及び退職手当等から未徴収税額(ウ)を一括徴収できないため。 3.死亡による退職のため。							